

# 抜歯の適応となる歯

## なぜ歯を抜くのでしょうか？

歯が関係する病気には、感染症、歯の位置や歯の数の異常、外傷、乳歯から永久歯へのはえ変わりの異常などたくさん種類があります。感染症の代表はむし歯と歯周病です。感染症が進み、歯の根の先端が化膿したり膿を溜めたものを根尖病巣と呼びます。歯の位置の異常としては、埋もれている歯（埋伏歯）や正しい位置にない歯（転位歯）があります。また、強い力がかかると歯が折れてしまうこともあります。これらの異常に対しては、病状に応じた治療を行いますが、状態が悪い場合には、治療できないこともあります。状態が悪い歯を放っておくと、周囲の歯にも悪い影響を及ぼすだけでなく、全身的な感染症の原因となることもあります。歯が体にとって有害となってしまう場合には、歯を抜くという治療を行ないます。

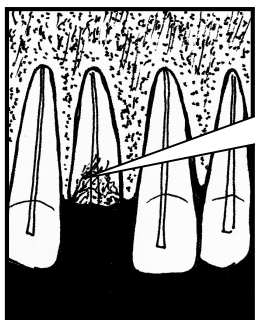
## 抜歯の適応となる歯

以下のような場合、抜歯の適応となります。歯を抜く必要性や手術前後の注意事項など、術前に歯科医師から十分に説明を受けてください。

1. むし歯が歯肉の中まで進み、治療できない歯(図1)
2. 歯周病が進み、ぐらぐらに動く歯(図2)
3. 歯の根の先に根尖病巣があり、治療不可能な場合(図3)
4. 歯の根が折れてしまった歯(歯根破折)(図4)
5. 親知らずなど、埋伏している歯(埋伏歯)(図5)
6. きちんとした場所に生えていない歯(転位歯)(図6)
7. 本来あるべき数よりも多く生えている歯(過剰歯)
8. 永久歯が生えてくるのを妨げている乳歯(乳歯晩期残存)

### 【歯を抜く前の注意事項】

- ・十分に睡眠をとり、体調を整えてください。
- ・よく歯をみがいて、お口の中を清潔にしてください。
- ・局所麻酔での抜歯の前は、お食事を召し上がってきてください。静脈内鎮静法の場合には、指示を受けてください。
- ・血圧や糖尿病などの薬は、原則として内服してきてください。抗凝固薬などの薬は、指示を受けてください。
- ・お薬や麻酔のアレルギーなどが心配な方、妊娠の可能性がある方、体調が悪い方は、おっしゃってください。
- ・お仕事などに余裕をもって、手術日を決めて下さい。



歯肉の中まで進んだむし歯

根尖病巣  
(根の先の化膿)

図1 重度のむし歯

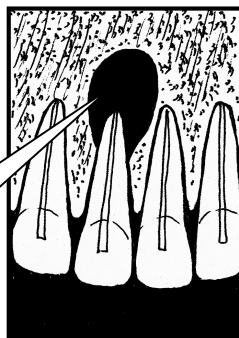
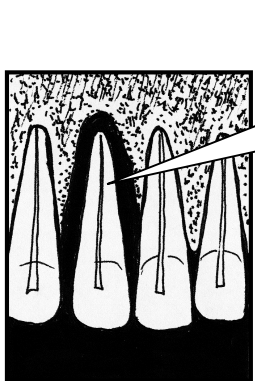


図3 治療不可能な根尖病巣



埋伏している親知らず(智歯)

図5 埋伏している歯



重度の歯周病でぐらぐらの歯

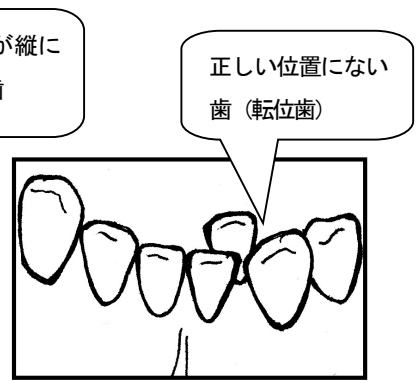
歯の根が横に折れた歯

図2 重度の歯周病



歯の根が縦に折れた歯

図4 歯の根が折れた歯



正しい位置にない歯(転位歯)

図6 位置の異常がある歯